

市民の生活の質と、観光客の移動満足度の向上を実現する「加賀MaaS」実証事業(石川県加賀市)

自家用車に依存しない移動手段を確保するため、利用ニーズに応じたオンデマンド交通を提供し、乗換案内や予約等の交通サービスを充実させる。また、地域経済活性化のため、MaaSアプリ上で施設情報・クーポンを配信する等、交通・商業・観光分野の連携で、新型コロナウイルス対応の新しい生活様式に順応した利用者にとって最適なMaaSを実現する。

<p>協議会の構成員</p>	<p>【幹事】加賀市、加賀市地域公共交通活性化・再生協議会〔加賀第一交通(株)、加賀温泉バス(株)、(株)まちづくり加賀、(一社)加賀市観光交流機構(加賀温泉郷DMO)等〕、【協力】加賀MaaSコンソーシアム〔(株)ヴァル研究所、(株)フォルク、富士通(株)、(株)MaaS Tech Japan、MONET Technologies(株)、西日本旅客鉄道(株)、東京海上日動火災保険(株)、(株)日本旅行、(株)日本総合研究所〕</p>		<p>取組イメージ</p>
<p>地域課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自家用車を利用できない住民の外出頻度の低下とQOLの低下 ● 子育て世代等の家族の送迎による保護者負担の増加 ● 交通機関の利便性の低さにより観光客の周遊性が低いことによる観光消費の低迷や満足度の低下によるリピート意欲の減退 ● 新型コロナウイルスに対応した交通・非交通のサービスが実現できていないこと 		<p>MaaSを通じて提供しているサービスのイメージ</p> <p>新規デマンド交通(ニーズに合わせたモビリティ)の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通学・通塾(買い物等も含む)の送迎サービスによる保護者の送迎負担の軽減 ● 高齢者向けの会員制のお出かけ促進送迎サービスによる乗合タクシーでアクセスしにくい場所への移動をサポート ● 観光客向けの宿泊地から観光地・商店へのアクセス便による車でないといけないかつとこへの送迎 <p>・旅館バスなどの遊休車両活用によるバス停を設けないバスサービス ・気軽に乗車できる交通サービスで路線バスを補充 ⇒実績と導入を繰り返して要望に応じていく</p> <p>観光施設等の情報提供</p>
<p>取組の概要</p>	<p>期間</p>	<p>2020年12月1日～2021年3月12日</p>	<p>オンデマンド交通の利用イメージ</p> <p>①アプリ上で利用ルートを選択 ②送迎サービスを利用</p> <p>新型コロナウイルス対策の情報提供</p>
<p>交通サービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● エリア内の路線バス、周遊バスの経路検索機能の提供 ● 路線バス等のバス停の位置情報の提供 ● オンデマンド交通の配車予約機能の提供 ● 定額デジタルチケットの購入・表示機能の提供 ● 旅館所有バスを活用した新規の交通サービスの提供 ● バスロケーション情報の提供(一部) 		<p>検証結果</p>
<p>検証内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 店舗や観光施設、文化施設等の、所在地や営業時間、イベント等の情報の提供 ● 店舗の販促情報(クーポン)の提供 ● 旅程の作成機能の提供 ● 新型コロナウイルス対策として、店舗等の混雑状況配信と店舗側リアルタイムで情報更新できる仕組みの提供 ● 店舗の新型コロナウイルス対策状況の情報配信 ● マイナンバーと連携したサービス仕様の検証 		<p>利用者アンケートにより、以下の検証結果を確認。下記のほか、クーポンへの感度が高い等、サービスに必要な機能が明らかとなったことに加え、UIに関する課題も確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● モニター(高齢者)の72.2%が外出によりQOLが向上 ● モニター(子育て世代)1人当たり3.7時間/週の負担軽減が確認 ● モニター(観光客)の15.4%が10,000円以上の消費活動を実施 ● モニター(アプリ)の63.4%がアプリ上のフリーパス導入が公共交通利用への意欲に繋がったと回答
<p>検証内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の日常的な外出と免許返納の促進効果の検証 ● 通塾送迎サービスによる保護者の負担軽減と社会進出促進の効果の検証 ● 観光客の移動促進により、地域経済に与える効果の検証 ● 上記サービスを包含するMaaSアプリ上での情報提供により、連携基盤が利用者にもたらす効果検証 		<p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後MaaSで解決に向けて取り組む具体的な地域課題は次の5項目。「観光収益性の改善」「子育て世代の流出を抑止」「免許返納の促進とその後の高齢者の移動手段の確保」「MaaSによる地域交通の再編」「移動利便性を高め関係人口を増やす」 ● オンデマンド交通と連携基盤を活用し、事業性を担保する新交通サービス導入に向け調整